

■甲良宗廣 大工棟梁。大事業の日光東照宮造営を技術面で統轄し、世襲の幕府作事方大棟梁の祖となった。

こうらむねひろ

長島一揆鎮圧1574=

近江国犬上郡甲良庄法養寺村の工匠の名門に生まれる。

幼名は小左衛門。

本能寺の変・1582= 8歳：

賤ヶ岳の戦い・1583= 9歳：

秀吉全国統一1590=16歳：

文禄の役・・・1592=18歳：

26聖人殉教・1596=22歳：大地震で大破した伏見城を預かる徳川家康が、その再建の技術者の一人として登用された宗廣の技量に感嘆し、家康の邸宅の造営に従事、作事方として常勤するようになる。

慶長の役・・・1597=23歳：*関白近衛家の門の造営で、扉の彫刻にかの左甚五郎と競作したという伝説を残すほどの技量を発揮し、その功により従六位左衛門尉を許され、

関ヶ原の戦い・1600=26歳：関ヶ原の戦後、上方(畿内・近江6カ国)の大工を支配するようになった中井正清のもと、朱印船制始・1601=27歳：初めて棟梁になった吉田神社造営(現存し特異な八角堂の社殿を持つ)の功で豊後守を許されるなど、京都で輝かしい業績を残して、

阿国歌舞伎始1603=29歳：故郷に帰るが、糸割符法始・1604=30歳：家康から江戸出府の命を受け、急いで甲良神社本殿の修造した後、徳川家康隠居1605=31歳：*江戸に下り、中井正清のもと、棟梁となって芝増上寺山門、山王社を造営、彫刻をはじめ見事な出来栄で江戸の名物になって行く。

江戸城完成・1606=32歳：江戸城改築工事、家康駿府退隠1607=33歳：江戸城天守閣の造営などにも、当然のごとく参画して、次々と重要な仕事をこなす。

琉球使始・・・1610=36歳：

徳川家康没・1616=42歳：家康の遺命によって始まった日光東照宮は、その一切を中井正清が取り仕切っているが、近年、現在目にする寛永度の華美で荘厳なものに比較すると、関わった工人の数は、85分の一弱と極めて簡素なものであったことが判明、彫物で卓越することは夙に有名であったから、日光東照宮の創建に関わっていたことは当然と思われ、奥社拝殿の遺構とされる武蔵国世良田東照宮拝殿は代表作となっている。

菱垣廻船始・1619=45歳：中井正清が死去した後は、江戸を差配する木原方に属したようであるが、卓越した技術が認められて、

徳川家光將軍1623=49歳：家光が將軍になると、諸大名がこぞって、屋敷への御成りを求めるようになり、そのため屋敷を豪壮華麗なものにしようと、蒲生下野守、加藤肥後守などを代表に、*諸大名の江戸屋敷の御成御殿を次々造営するなどして、鶴(刑部)左衛門正昭とともに、「鶴・亀(こうら振り)」と併称され、甲良一門を形成して行く。

イサノ断交・1624=50歳：御大工鈴木長次のもと、子の宗次とともに、鎌倉鶴岡八幡宮を造営、

・・・・・・1628=54歳：御大工鈴木長次のもと、続いて、父子で、江戸愛宕社の棟梁となり、駿府の家康側室の菩提寺宝台院の建設に鶴正昭と協働、

寛永禁書令・1630=56歳：江戸山王権現社を再建、

徳川秀忠没・1632=58歳：(秀忠)台徳院靈廟の造営では、彫物の精巧さで世人を驚嘆させて、作事方大棟梁となり、

鎖国令Ⅰ・・・1633=59歳：安国殿も建築するなどして、

鎖国令Ⅱ・・・1634=60歳：ついに、日光東照宮造替という大事業の大棟梁に選任され、御大工鈴木長次、木原義久とその配下全てを関係させず、甲良一門のみで従事するに至り、

東照宮完成・1636=62歳：*わずか5か月という驚異的な短期間で、日光東照宮が完成。色彩と彫刻を豊富に用いて、日本を代表する建築となり、その力量が比類ないものであることを示したのである。

島原の乱始・1637=63歳：作事方大棟梁の地位を子の宗次に譲って隠居したが、

鎖国令Ⅴ・・・1639=65歳：なお、次男左吉と、尾張徳川家江戸上屋敷や寛永寺五重塔を手がけるなどした後、

家光鎖国完成1641=67歳：

寛永飢饉終・1643=69歳：故郷の近江国甲良庄法養寺村に隠棲し、剃髪して、道賢と称してまもなく、

・・・・・・1646=72歳：病で没した。

天海僧正の関係者は、その死を悼んで、京都真如堂に埋葬し、日光山中の妙道院に位牌を取めたという。江戸時代を通じて甲良家は幕府作事方大棟梁を世襲していく。